

平成19年11月8日

文部科学大臣 殿

国立大学法人九州大学

学長 梶山千里

九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻（博士後期課程）
設置報告書

このたび、九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻（博士後期課程）
を設置することについて、別紙書類にて報告いたします。

設 置 計 画 の 概 要

							事前伺い			
大学の名称	九 州 大 学				計画の区分	研究科の専攻設置				
新 設 学 部 等 の 状 況 (学 年 進 行 終 了 時 に お け る 状 況)										
学部等の名称	学科等の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	専任教員		
					学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授
芸術工学府	デザインストラテジー専攻(D)	5	—	15	博士(芸術工学)	工学関係 美術関係 経済関係 音楽関係	平成20年度	芸術工学府芸術工学専攻(D) 新規(芸術工学府デザインストラテジー専攻(M))	12 5	7 2
既 設 学 部 等 の 状 況 (現 在 の 状 況)										
学部の名称	学科の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	専任教員		
					学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先	助教以上	うち教授
芸術工学府	芸術工学専攻(D)	20	—	60	博士(芸術工学) 博士(工学)	工学関係 美術関係	平成15年度	芸術工学府デザインストラテジー専攻(D) 芸術工学府芸術工学専攻(D) 退職	12 57 5	7 31 5
	デザインストラテジー専攻(M)	20	—	40	修士(デザインストラテジー)	工学関係 美術関係 経済関係	平成18年度	芸術工学府デザインストラテジー専攻(M) 退職	14 1	8 1
【備考欄】										
芸術工学府 芸術工学専攻(M) 70名 → 92名 " (D) 20名 → 25名 デザインストラテジー専攻(M) 20名 28名										

教 育 課 程 等 の 概 要

(芸術工学府デザインストラテジー専攻 (D))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
修士課程	プロデューサー原論	1, 2		2		○	○		2						
	デザインイノベーション	1, 2		2		○	○		1						
	ブランドビジネスデザイン	1, 2		2		○	○		1						
	プロジェクトマネジメント	1, 2		2		○	○		1						
	デザインインテグレーション	1, 2		2		○	○			1					
	デザインマネジメント	1, 2		2		○				1					
	コンテンツ知的財産論	1, 2		2		○	○			1					
	プレゼンテーション	1, 2		2		○	○								
	ビジネス財務	1, 2		2		○									
	デザイン知財国際比較	1, 2		2		○									
	デザインコンサルタント	1, 2		2		○	○								
	デザインリスクマネジメント	1, 2		2		○	○								
	デザイン産業事情	1, 2		2		○									
	デザインベンチャー	1, 2		2		○									
	小計 (14科目)	—		28		—	—	—	3	3					
博士後期課程	建築デザイン	1, 2		2		○	○		1						
	ストラテジックプロジェクト史	1, 2		2		○	○		1						
	パブリックデザイン	1, 2		2		○	○		1						
	次世代建築空間	1, 2		2		○	○			1					
	生活文化デザイン	1, 2		2		○	○			1					
	インクルーシブデザイン	1, 2		2		○	○			1					
	プロダクトデザイン特論	1, 2		2		○	○								
	プロダクトデザインメソッド特論	1, 2		2		○	○								
	メカニクスデザイン特論	1, 2		2		○	○								
	まちづくりデザイン	1, 2		2		○	○								
	小計 (10科目)	—		20		—	—	—	3	3					
通科目	インタラクティブデザイン	1, 2		2		○	○		1						
	リスニングデザイン	1, 2		2		○	○		1						
	イベント・展示映像デザイン	1, 2		2		○	○		1						
	デジタル映像デザイン	1, 2		2		○	○				1				
	国際コミュニケーションA	1, 2		1			○			1					
	国際コミュニケーションB	1, 2		1			○			1					
	映像コンテンツデザイン特論	1, 2		2		○	○								
	視覚記号特論	1, 2		2		○	○								
	グラフィックデザイン特論	1, 2		2		○	○								
	先端メディア芸術表現	1, 2		2		○	○								
	小計 (10科目)	—		18		—	—	—	3	1	1				
独自開設科目	デザインストラテジー・リサーチ研修	1, 2		2			○		9	7	1				
	デザインストラテジー・リサーチプロジェクトA	1, 2		2		○			9	7	1				
	デザインストラテジー・リサーチプロジェクトB	2, 3		2		○			9	7	1				
	デザインストラテジー・リサーチプロジェクトC	2, 3		2			○		9	7	1				
	小計 (4科目)	—		8		—	—	—	9	7	1				
合計 (38科目)		—		74		—	—	—	9	7	1				
学位又は称号	博士 (芸術工学)		学位又は学科の分野				工学関係、美術関係、経済関係、音楽関係								

I. 設置の趣旨等

1 設置の趣旨、目的、必要性 (資料1参照)

九州芸術工科大学との統合により新しく生まれた本学芸術工学部、大学院芸術工学府では、技術を人間生活に適切に利用するために、「技術の人間化」を標榜し、技術の基盤である科学と人間精神の自由な発現である芸術とを総合するという高次のデザイン教育を目的として、39年間にわたって各界に有為なデザインディレクター人材を輩出してきた。

一方、平成16年4月の経済産業省の次世代デザイン人材育成に関する調査は、デザイン業界では、デザイン制作の中核をなすデザインディレクター人材の不足に加え、今後のデザイン業界の飛躍的発展のために、「デザインプロデューサー、デザインストラテジスト(総称してデザインストラテジー人材)」が必要であると指摘している。デザインストラテジー人材とは、事物のデザインコンセプトを決める構想力を持ちながら、それを実際に企画し、生産、知財化、流通、販売するまでのデザインビジネス過程を推進する能力をもつ新しい型の高度専門職業人である。

デザインストラテジー人材育成に関しては、近年の社会構造・産業構造の変化に伴い、企業等の内部でOJT(On the Job Training)による長期間の実務を通じた教育が困難になりつつあり、大学等高等教育機関や企業等内部で早期のデザインストラテジー教育研究が担える人材育成も急務とされている。

今後の日本社会が持続的な国際競争力の基盤を確立し、経済発展するためには、デザインストラテジー人材と、その人材教育のために独自のデザインストラテジー方法論を構築し、デザインストラテジー学研究を推進できる能力を有する極めて高度なデザインストラテジー人材の早期の育成が必要である。

この社会の要請に応えるべく、九州大学大学院芸術工学府は、「デザインストラテジー専攻修士課程」を一般専攻の形で平成18年4月に設置し、高度専門職業人である「デザインストラテジー人材」の育成に務めている。

そして、平成20年4月に設置予定の博士後期課程は、自ら「デザインプロデューサー、デザインストラテジスト(デザインストラテジー人材)」でありながら、この分野でデザインストラテジーに関する教育研究能力を持ち、大学や企業等において人材の育成をも担うことのできる極めて高度なデザインストラテジー能力、すなわち「独自の実践型デザインストラテジー方法論を構築し教育研究を担える能力」を有する人材を育成する。

特に、デザイン業界において切望されているデザインストラテジー教育研究人材の育成には、国内唯一の「デザインストラテジー専攻修士課程」を有する本学に博士後期課程を設置することによってデザインストラテジー教育研究拠点を形成し、総合大学の学際性を備えたデザインストラテジー教育研究分野の確立を果たす社会的責任がある。

2 養成人材像 (資料2参照)

デザインプロデューサー、デザインストラテジスト等、デザインストラテジー人材を大学において育成することについては、その必要性や養成人材像を調査・分析するために平成17年度に2度にわたる「高度デザイン人材育成シンポジウム」を開催した。その成果として、次のような養成人材像が明らかとなった。

本専攻が育成する高度デザイン人材は、「事物のデザインコンセプトを決める構想力・個別課題対応能力を持ちながら、それを実際に企画し、生産、知財化、流通、販売するまでのデザインビジネス過程を推進・支援する能力(デザインストラテジー実践能力)を持つ新しい型の高度専門職業人(デザインプロデューサー、デザインストラテジスト等のデザインストラテジー人材)」である。このデザインストラテジー人材は、デザインビジネス全領域をカバーできる新しい形のデザインノウハウを持たなければならない。そして、これらの人材は、社会やビジネスとの多くの接点を持つことから、より社会人としての職業倫理・安全管理・責任感・リーダーシップといった基本的資質の醸成が最重要となる。以上のことからデザインストラテジー専攻修士課程を設置することとなった。

さらに平成18年度においては、高度デザイン人材として社会が求める博士後期課程修了者への進路に関して、国内の主要な企業(トヨタ自動車、日立製作所、富士通、パナソニックデザイン社等)のデザイン部門長にヒアリング調査を行った。その結果、上記の高度専門職業人であるデザインストラテジー人材の必要性に加え、企業内の中堅デザイナーに対してデザインストラテジー能力の育成に携わることのできる「独自の実践型デザインストラテジー方法論を構築し教育研究を担える」人材の必要性が強く要請され、上記のヒアリング企業の中堅デザイナーから既に社会人受験の問い合わせを得ている。また、デザイン関連の大学等の高等教育機関においても、デザインをビジネスに活用するためのデザインストラテジー方法論を教授できる人材が強く求められている。一方、現在、デザインストラテジー専攻修士課程2年次に在学している学生の内、既に3名の学生が博士後期課程への進学を希望している。

以上のことから、本専攻は、修士課程における高度専門職業人の養成に加え、自らデザインストラテジー方法論を構築し展開できる博士の学位を有し企業や高等教育機関において教育研究を担える人材を養成することが急務である。

<予想される入学者像と定員確保>

本専攻博士後期課程への入学者像は、デザインストラテジー専攻修士課程修了者からの進学を修士課程定員の約1割（2～3名程度）、修士修了若しくは同等の能力を有するデザイン関連実務に携わっている社会人（例えば、上記の中堅デザイナー）2～3名程度が考えられる。よって、合計5名の定員確保は、修士課程在学学生および主要企業へのヒアリング、そして現在、デザインストラテジー専攻修士課程専任教員が芸術工学専攻の博士後期課程で受け持っている学生数などから判断して十分可能である。

<修了者の活躍の場>

本専攻博士後期課程修了者は、上記のヒアリング調査のように企業内でデザインプロデューサーやデザインストラテジスト等のデザインストラテジー人材を育成するストラテジックデザインスーパーバイザーや、デザインビジネスコンサルタント、デザインビジネスに関する担当責任者など、デザインビジネスを戦略的に推進するために必要不可欠な人材として活躍する。また、今後のデザイン教育においてデザインストラテジーに関する教育研究者の需要は増えることが予想されており、デザイン系大学に限らずビジネススクールや公設試験場、デザインセンター、企業等研究機関などの教員や研究者として活躍する場面がある。

3 専攻及び学位の名称

本専攻の名称は、「デザインストラテジー専攻（博士後期課程）」とする。修業年限は3年、入学定員は上述の根拠から5名、収容定員15名で、原則として昼間開講を予定している。

学位の名称は、芸術工学研究分野において求められる発展型のデザインストラテジー方法論を構築する実践型の芸術工学研究者を育成する課程であることから、「博士（芸術工学）＝英語名：Ph.D. (Design)」とする。

II. 教育課程の編成の考え方及び特色

1 教育方針

本専攻では、デザインビジネス過程においてデザインを戦略的に推進する多様な関係性と方向性を的確に判断・創造・提案・実行する力を養うために、次のような能力を主に養成する。

- ① 各種デザインを統合し、プロジェクトの立案・策定・実施に結びつける能力
- ② プロジェクトを戦略的に推進でき、成果・評価を確約できる能力
- ③ 責任感と信頼感を持ってプロジェクトを推進できる能力
- ④ 時代の変化やニーズに対応できるスピードと高度なスキルをあわせ持つ能力

以上のような能力を養成するために、カリキュラムの編成にあたっては、次の4点に配慮した。

- ① デザイン統合、プロジェクト立案・策定・実行能力のための創造・提案力の養成
- ② 実践的応用による高度な戦略的プロジェクト推進能力のための判断・実行力・契約履行能力の養成
- ③ 芸術工学と実務経験の融合
- ④ 現役のデザインビジネス実務家の活用・最新のノウハウの導入

また、勉学環境・条件の整備といった点でも、本専攻の特色を活かした環境整備を行う。

- ① 少人数教育の徹底
- ② プロジェクト主体教育のための時間的配慮
- ③ プロジェクト主体教育及び主体的学修を可能にする環境の保障

本専攻博士後期課程では、「企業等デザイン実務及び大学等教育研究機関においてデザインプロデュース分野における人材育成をも担えるデザインプロデュース能力を有した極めて高度な専門職業人や教育研究者を養成すること」を教育目的としている。特に、デザインストラテジーの学際的研究を推進し、わが国に不足しているデザインプロデューサーのリーダー的役割（スーパーデザインプロデューサー）を担える能力、さらにはデザインストラテジー教育研究を企業等の実務の現場や大学等の教育研究機関において、中核を担える能力を育成しなければならない。それらは、主に次のような能力を涵養することによって可能となる。

- ① デザインストラテジー方法論を構築できる能力
デザインプロデュースに関するプロジェクト事例、関連研究事例等を通して、次代のデザインストラテジー方法論を構築できる探求力が必要である。
- ② プロジェクトを統括できる能力
既にデザインプロデュース能力を備えた被育成者に対して、プロデュースすべきテーマを導出し、提案、交渉、実行、そして管理運営に至るまで自主的にプロジェクトを統括できる能力を備えなければならない。
- ③ 独自の見解を持って指導できる能力
デザインプロデュースやストラテジーに関する独自の的方法論等に基づいたデザインプロデューサー育成のための指導力を醸成する必要がある。

以上のような能力を涵養するために、博士後期課程のカリキュラム編成は、次の3点を配慮した。

- ① 独自の方法論構築のための探求力の涵養
 - ② プロジェクトの立案から実行、管理運営までの統括力の涵養
 - ③ RA（リサーチ・アシスタント）制度の活用などによる指導力の涵養
- また、修士課程と同様に勉学環境・条件の整備という点でも次の3点を重視している。
- ④ 少人数教育の徹底
 - ⑤ 研究指導のための時間的配慮
 - ⑥ プロジェクト等事例研究や主体的学修を可能にするカリキュラムの柔軟性

2 カリキュラム編成（P2参照）

本専攻博士後期課程の具体的なカリキュラムは、修士課程と同時開設される科目と博士後期課程独自に開設される科目で構成する。

博士後期課程と修士課程で同時に開設される科目は、デザインプロデューサーやデザインストラテジストに要求されるデザインストラテジー能力養成に必要な基幹科目である「①デザインビジネス系科目」、そして実践力を養うこれまでのストラテジックデザイン系の「②ストラテジックアーキテクト科目」と「③ストラテジックエクスペリエンス科目」の3つの科目群から構成されている。

「①デザインビジネス系科目」は、時代のニーズに応え、デザインを用いた、新しい提供価値を創造していくための統合的なデザインを実践・修得するコアとなるデザインビジネスの科目と、基本的なデザインビジネスを行う上で必要不可欠、かつ新しい時代の要求に応える広義のデザインビジネスを実践していくためのビジネス基盤となる科目を学ばせる。

「ストラテジックデザイン系科目」では専門的なデザインプロデューサー分野を「②ストラテジックアーキテクト科目」と「③ストラテジックエクスペリエンス科目」の2つのカテゴリーに分け、ストラテジックデザイン方法を用いて高度なデザインコンセプトやプロセス・メソッドを実践・修得する。

また、本専攻で開設する科目以外に、デザインプロデューサーやデザインストラテジスト教育に関連する専門的学修が必要な場合、総合大学としての九州大学の教育組織を有機的に活用する方式を採用する。具体的には、デザインビジネス科目に関連する科目として、法学府、法学部並びに経済学府で開設する関連科目を、またストラテジックデザイン系科目に関連する科目として、工学府及び芸術工学府の他専攻で開設する関連科目を加えて履修できるようにする。

博士後期課程で独自に開設される科目は、以下の4科目（これらを総称して「リサーチ系科目」と呼ぶ）である。

- ・デザインストラテジー・リサーチ研修（2単位）
- ・デザインストラテジー・リサーチプロジェクトA（2単位）
- ・デザインストラテジー・リサーチプロジェクトB（2単位）
- ・デザインストラテジー・リサーチプロジェクトC（2単位）

デザインストラテジー方法論を構築し、展開する能力を養成するために、各自の研究テーマに則したリサーチプロジェクトAまたはBによって産学官連携プロジェクトなどを題材に博士研究のケーススタディを修練する。また、リサーチ研修では、各自のデザインストラテジー方法論の構築プロセスなどを用いて、修士課程の学生や企業内デザイナーに対する教授実習を行い、教育に携われる能力を開発する。そしてリサーチプロジェクトCは、リサーチプロジェクトAまたはBなどを通して構築した研究成果を論文にまとめ、博士論文作成のための論理的構成力や研究の独創力などを涵養する。

III. 教員組織の編成の考え方及び特色（資料3、4参照）

1. 教員組織編成の考え方及び特色

本専攻の教員組織は、同分野である本学大学院芸術工学府芸術工学専攻博士後期課程担当教員（教授7、准教授4、講師1、いずれも同専攻またはデザインストラテジー専攻修士課程も併せて担当。）及び同デザインストラテジー専攻修士課程担当教員（教授2、准教授3）で構成される。

このように、構成員の約7割の者が既に、授与する学位の種類及び分野が同じ博士後期課程を担当しており十分な研究指導体制を整えている。

また、本専攻教員組織は、デザインアーキテクト分野並びにUIA（国際建築家連合が認定する建築家資格制度）への対応を考慮した建築教育におけるデザインストラテジー分野を充実させ、効果的なカリキュラムと研究指導を的確に遂行できる組織として以下の3区分の教員構成に編成する。

①デザインビジネス方法論を教育し、研究指導する教員

社会・経済・産業の新しいビジネスニーズを解決する方法論を持ち、長年のデザインプロデューサー活動経験による職業倫理・安全管理・責任感・リーダーシップといった基本的資質を社会的に認知された教員と、デザインビジネス研究に求められる専門知識（知的財産権、マーケティング、マネジメント等）を有し、デザインストラテジストの国際性の涵養、プレゼンテーション能力養成などを行える教員が専任として担当する。デザインビジネス講座に所属し、デザインビジネス科目、並びに博士後期課程独自の開設するリサーチ系科目を担当する。

②生活環境デザインを深化・統合する方法論を教育し、研究指導する教員

デザインビジネスにおける実践的なデザイン活用を推進するために、生活環境を形成するための都市・建築デザイン、空間デザイン、インダストリアルデザイン、そして生活文化などのデザイン領域における独自のデザイン方法論を持ち、デザインビジネスとの統合を踏まえた新たなデザインストラテジー方法論構築能力などの養成が行える教員が専任として担当する。ストラテジックアーキテクト講座に所属し、ストラテジックアーキテクト科目、並びに博士後期課程独自の開設するリサーチ系科目を担当する。

③情報環境デザインを深化・統合する方法論を教育し、研究指導する教員

デザインビジネスにおける実践的なデザイン活用を推進するために、情報環境を形成するためのインタラクティブデザイン、イベントデザイン、デジタル映像デザイン、そしてデジタルコンテンツなどのデザイン領域における独自のデザイン方法論を持ち、デザインビジネスとの統合を踏まえた新たなデザインストラテジー方法論構築能力などの養成が行える教員が専任として担当する。ストラテジックエクスペリエンス講座に所属し、ストラテジックエクスペリエンス科目、並びに博士後期課程独自の開設するリサーチ系科目を担当する。

本専攻での博士の研究指導にあたっては、独自の実践的デザインストラテジー方法論を構築することが特色である。そのため指導教員となる現員の専任教員17名の内、デザインビジネス講座の4名、ストラテジックアーキテクト講座の5名、ストラテジックエクスペリエンス講座4名の計13名の教員は、デザイン関連の高度な実務経験があり博士の学位を有するか同等以上の研究能力を有する教員を配置する。また、知財やマネジメント、マーケティングなどの研究型教員も配置し、最先端の実践能力と応用デザイン能力、そして方法論研究能力とのコラボレーションにより効果的な教育研究プログラムを開発し、実務経験と芸術工学との融合を図る。そのために、これらの教員がそれぞれ複数担当して個々の学生の履修指導並びに研究指導を行うよう計画している。

特に、デザインストラテジー専攻博士後期課程の研究指導担当教員に関しては、現在、芸術工学専攻博士後期課程の研究指導担当である7名の教授の配置換えを行うものである。

2. 専任教員と兼任教員等

本専攻は、上記の専任教員の他に、デザインストラテジー教育研究に関連する専門的学修のために、総合大学としての九州大学の教育組織と企業等との連携協定を有機的に活用する方式を採用する。具体的には、デザインビジネス講座に関連する教育研究のための兼任教員として、法学研究院並びに経済学研究院との連携を、またストラテジックアーキテクト講座とストラテジックエクスペリエンス講座の教育研究のためには、工学研究院との連携と共に芸術工学研究院の芸術工学専攻の専任教員の兼任を計画している。さらに、デザインビジネスの教育研究には、実務者の協力が不可欠であり、デザインビジネス講座を中心に財団法人日本産業デザイン振興会との連携協定の基、現役のデザインプロデューサーを兼任教員で配置する。

修 了 要 件 及 び 履 修 方 法

授業期間等

1. 標準修業年限

(1) 修業年限は、3年とする。

1 学年の学期区分	2 期
1 学期の授業期間	15 週
1 時限の授業時間	90 分

2. 修了要件

(1) 本専攻博士後期課程に3年以上在籍し、下記の所定の10単位以上を修得したもので、学会等における査読付きの論文集（作品集も含む）に1編以上の掲載（掲載予定を含む）を条件に、学生個々の研究テーマに則した博士論文にまとめ、博士論文予備調査委員会及び博士論文本調査委員会（博士論文等公開発表会における発表審査を含む）の審査及び最終試験に合格しなければならない。

なお、所定の単位を修得し、優れた研究業績を上げた者については、修業年限を短縮することができる。

(2) 修了要件を満たした者には、博士（芸術工学）の学位を授与する。

3. 履修方法

大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻博士後期課程の履修方法は次のとおりである。

本専攻は、学生個人個人の特性に照らして修学させることを基本方針としているため、学年学期毎に修得すべき必修単位の条件は設けない。

科目群毎の単位の修得要件については次のような基準を設ける。

修了要件及び履修方法	授業期間等
<p>(1) 修士課程と同時開設のデザインビジネス系科目、ストラテジックデザイン系科目から博士研究に必要とされる科目を4単位以上修得することを義務づける。ただし、指導教員が必要と認めた場合は、他の専攻から2単位までを修得単位とすることができる。</p> <p>(2) 博士課程独自に開設される、デザインストラテジー・リサーチ研修及びデザインストラテジー・リサーチプロジェクトA、B、Cの内、博士研究のテーマに則した3科目6単位以上の修得を義務づける。</p> <p>以上、6学期間にわたって上記(1)と(2)に従って履修のうえ、総計10単位以上を修得しなければならない。</p> <p>4. 成績評価の方法</p> <p>(1) 成績評価の方法</p> <p>本専攻の博士後期課程は、高度なデザインストラテジー教育研究能力を養成することが主な目的であることから、講義・演習科目とリサーチ科目のいずれにおいても、授業参加、発言回数等の参加態度、レポート等成果物の発表回数と内容など多角的視点からポイント化し厳格に行う。特にリサーチ科目については、専任教員だけでなく兼任・兼任教員並びにプロジェクト関係の外部の専門家による評価を取り入れ、課題解決提案能力と発表能力を含めた総合的な実行力を判断基準に成績評価を行う。</p> <p>成績評価における試験の比重は30%程度とし、残りの70%をレポート等成果物、発言等によって評価することを標準とし、各担当者が授業の内容・方式に合わせて工夫することにする。授業時における発言や発表を評価するにあたっては、予習及び復習を重視し、またプレゼンテーション能力などの双方向授業への積極性を評価基準とする。</p> <p>成績評価のランク分けは、A、B、C、D、E (E不合格) の5段階評価とする。</p> <p>(2) 「リサーチ系科目の成果発表審査会」による能力水準の総合的評価</p> <p>高度なデザインストラテジー教育研究能力水準の評価は個々の授業についてそれぞれで行うのではなく総合的に評価する必要がある。</p> <p>そのため本専攻では、学期単位別にその学期又はその学期までの授業の総合的な成果として学生自身が実際のリサーチを担当して成果をまとめる演習科目を設定している。これらのリサーチ系科目(デザインストラテジー・リサーチ研修、デザインストラテジー・リサーチプロジェクトA、B、Cの総称)は、原則として一つの学期に一つの</p> <p>リサーチ成果をまとめて発表させ、これらの成果発表を全教員が参加(場合によっては外部の専門家も含め)して評価する「リサーチ系科目の成果発表審査会」を学期毎に1回実施する。</p> <p>(3) 博士の学位審査</p> <p>博士研究は、博士課程独自に開設されるリサーチ系科目を中心に各自の研究テーマに則して進めるものであり、上述のように「リサーチ系科目の発表審査会」は、その中間発表に位置づける。そのため博士研究は、中間発表での評価と、その研究成果を学術論文等に発表した実績を照らし、博士論文予備審査において主指導教員及び審査担当教員で構成する「博士論文予備審査会」を経て、「本審査」</p> <p>において博士論文及び最終試験を兼ねた博士の学位審査を行う。</p>	

教 育 課 程 等 の 概 要

(芸術工学府デザインストラテジー専攻(M))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
ビコ ジ ア ネ デ ス ザ イ ン 科 目	プロデューサー原論	1	2			○	○		2					
	デザインイノベーション	1	2			○	○		1					
	デザインインテグレーション	1	2			○	○			1				
	ブランドビジネスデザイン	1	2			○	○		1					
	プロジェクトマネジメントデザイン	1	2			○	○		1					
	小計(5科目)	—	10				—		3	1				
ペ ー シ ッ ク デ ザ イ ン ビ ジ ネ ス 科 目	デザインマーケティング	1	2			○								
	デザインコンサルタント	2	2			○	○							
	デザインリスクマネジメント	2	2			○	○							
	デザイン産業事情	2	2			○								
	デザインベンチャー	2	2			○								
	ビジネス財務	1	2			○								
	デザイン知的財産権	1	2			○	○			1				
	デザイン知財国際比較	2	2			○								
	プレゼンテーション	2	2			○	○							
	国際コミュニケーションA	1	1				○			1				
	国際コミュニケーションB	1	1				○			1				
	インターンシップ	2	2				○							
	小計(12科目)	—	22				—			2				
ア ド バ ン ス ト デ ザ イ ン 科 目	まちづくりデザイン	1	2			○	○							
	建築デザイン	1	2			○	○		1					
	生活空間デザイン	1	2			○	○		1					
	生活文化デザイン	1	2			○	○			1				
	ものづくりデザイン	1	2			○	○			1				
	機能工学デザイン	1	2			○	○		1					
	インタラクティブデザイン	1	2			○	○		1					
	リスニングデザイン	1	2			○	○		1					
	デジタル映像デザイン	1	2			○	○				1			
	イベント・展示映像デザイン	1	2			○	○		1					
	グラフィックデザイン	1	2			○	○							
	戦略的先端芸術表現	1	2			○	○							
小計(12科目)	—	24				—		6	2	1				
プ ロ ジ エ ク ト 科 目	ユニバーサルデザイン社会創成型プロジェクト	1	2				○		3	1				
	ブランド創成型プロジェクト	1	2				○		2	1				
	エクスペリエンス創成型プロジェクト	1	2				○		2	1				
	コンテンツ産業創成型プロジェクト	1	2				○		2	1	1			
	小計(4科目)	—	8				—		9	4	1			
デ ザ イ ン ス ト ラ テ ジ ー 科 目	デザインストラテジープロジェクトA	2	4				○		9	5	1			
	デザインストラテジープロジェクトB	2	4				○		9	5	1			
	小計(2科目)	—	8				—		9	5	1			
合計(35科目)		—	18	54			—		9	5	1			
学位又は称号	修士(デザインストラテジー)	学位又は学科の分野			工学関係, 美術関係, 経済関係									

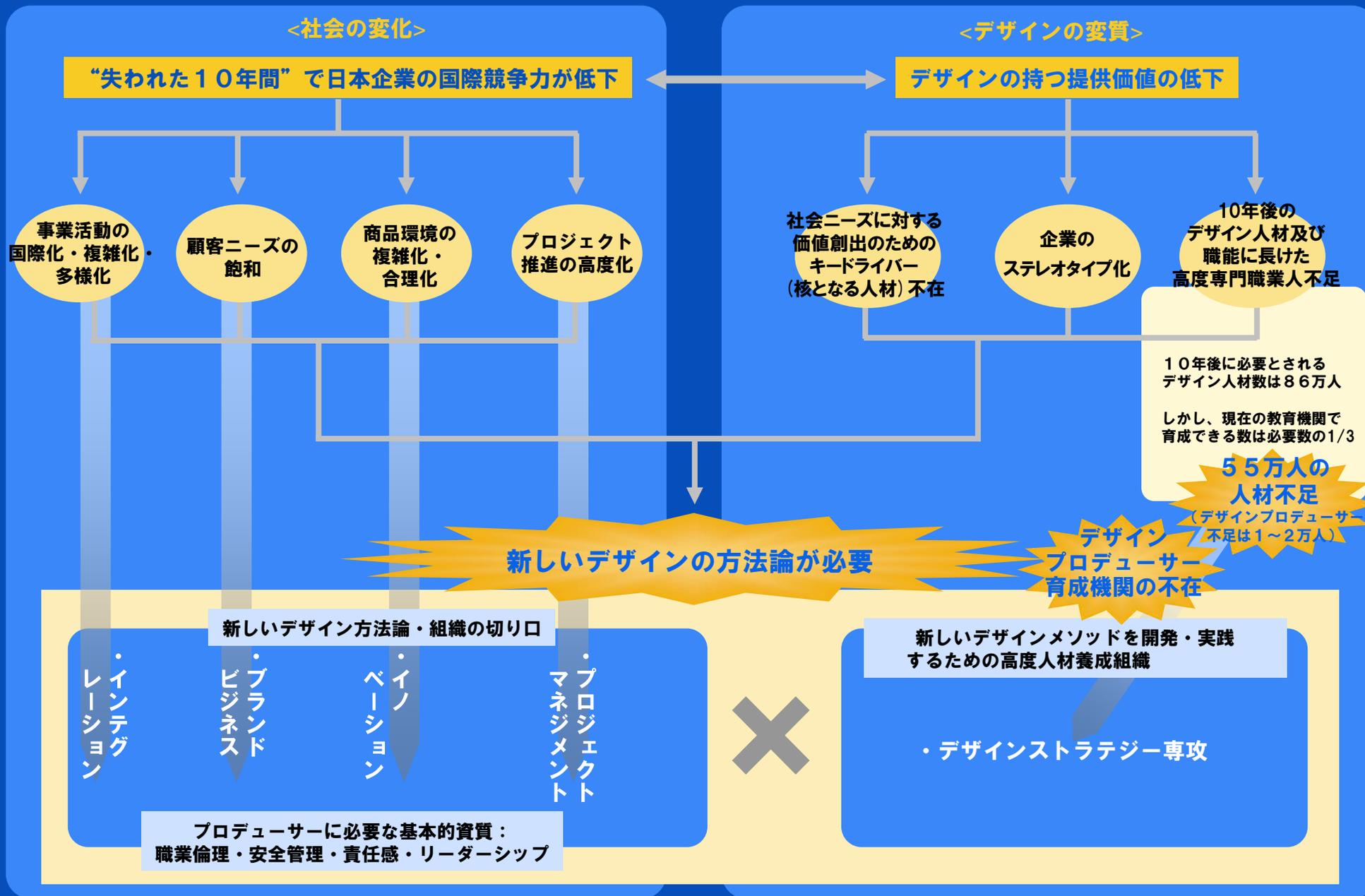
教 育 課 程 等 の 概 要

(芸術工学府芸術工学専攻 (D))

科目区分	系	領域	講座	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
						必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
環 境 計 画 画	文化・人間科学	環境論		都市環境形成史特論	1・2・3		2		○			1								
				環境人類学特論	"		2		○				1							
				環境化学特論	"		2		○				1							
				環境保全特論	"		2		○				1							
				環境倫理学特論	"		2		○					1						
	計画・設計				地域環境設計特論	"		2		○				1						
					都市環境設計特論	"		2		○				1						
					建築環境設計特論	"		2		○				1						
					緑地環境設計特論	"		2		○				1						
					歴史環境設計特論	"		2		○				1						
	科学・技術	環境システム			環境防災工学特論	"		2		○				1						
					環境調整工学特論	"		2		○				1						
					環境設計方法特論	"		2		○					1					
					環境生産特論	"		2		○				1						
					環境経済学特論	"		2		○					1					
小計 (15科目)				-		30		-			8	6								
人 間 生 活 シ ス テ ム	文化・人間科学	人間工学		生体機能学特論	1・2・3		2		○				1							
				福祉人間工学特論	"		2		○				1							
				感性工学特論	"		2		○				1							
				環境人間工学特論	"		2		○				1							
				働態学特論	"		2		○											
				生理人類学特論	"		2		○				1							
	計画・設計	インダストリアルデザイン			インダストリアルデザイン史特論	"		2		○				1						
					プロダクトデザイン特論	"		2		○				1						
					インテリアデザイン特論	"		2		○					1					
					パブリックデザイン特論	"		2		○				1						
					デザインマネジメント特論	"		2		○					1					
					デザイン方法特論	"		2		○						1				
	科学・技術	知的機能工学			工業数理特論	"		2		○				1						
					機能工学特論	"		2		○				1						
					制御工学特論	"		2		○					1					
					協調工学特論	"		2		○						1				
					機械設計特論	"		2		○						1				
					小計 (18科目)				-		36		-			9	6			
視 覚 情 報	文化・人間科学	視覚学		視覚生理学特論	1・2・3		2		○				1							
				視覚心理学特論	"		2		○				1							
				色彩学特論	"		2		○				1							
				画像論特論	"		2		○					1						
	計画・設計	視覚芸術学			映像表現特論	"		2		○				1						
					映像形成特論	"		2		○				1						
					視覚造形特論	"		2		○					1					
					視覚情報特論	"		2		○						1				
					視覚記号特論	"		2		○					1					
	科学・技術	画像工学			画像情報工学特論	"		2		○				1						
					画像表示特論	"		2		○				1						
					画像解析工学特論	"		2		○					1					
					画像信号処理特論	"		2		○						1				
					画像情報システム特論	"		2		○						1				
					画像応用システム特論	"		2		○						1				
小計 (15科目)				-		30		-			8	6								

音 響 情 報	文化・人間科学	音文化学	音楽環境特論	1・2・3	2		○			1					
			音楽生態特論	"	2		○								
			音楽情報特論	"	2		○				1	1			
			音楽構成特論	"	2		○				1		1		
			音楽マネジメント特論	"	2		○								
			言語表現文化特論	"	2		○				1				
	計画・設計	音響環境学	音環境評価特論	"	2		○			1					
			音響環境予測特論	"	2		○				1				
			音響環境解析特論	"	2		○				1				
			音響環境制御特論	"	2		○					1			
			非線形振動・波動特論	"	2		○				1				
			聴覚医学特論	"	2		○				1				
	科学・技術	音響情報学	聴覚認知特論	"	2		○				1				
			心理音響学特論	"	2		○				1	1			
楽器音響学特論			"	2		○				1					
音響情報処理特論			"	2		○						1			
音響情報処理工学特論			"	2		○							1		
小計 (17科目)			—		34		—			9	6				
芸 術 情 報	文化・人間科学	芸術文化論	芸術文化環境特論	1・2・3	2		○			1					
			東洋美術史特論	"	2		○								
			現代造形特論	"	2		○				1				
			演劇文化特論	"	2		○					1			
			比較文化特論	"	2		○					1			
			情報倫理学特論	"	2		○								
	計画・設計	メディア設計学	コンピュータグラフィックス表現特論	"	2		○				1				
			コンピュータグラフィックス構成特論	"	2		○					1			
			インタラクションデザイン特論	"	2		○				1				
			データ処理特論	"	2		○								
			情報伝達網特論	"	2		○				1				
			情報解析特論	"	2		○					1			
	科学・技術	情報環境学	情報数理特論	"	2		○					1			
			情報統計推測特論	"	2		○				1				
知能情報学特論			"	2		○						1			
計算機アーキテクチャ特論			"	2		○				1					
小計 (16科目)			—		32		—			7	6				
講座間 共通科目				芸術特論Ⅰ	1・2・3	2		○			1	1			
	芸術特論Ⅱ	"		2			○		2	1					
	インターンシップ	"		2			○		43	3					
	小計 (3科目)	—			6		—		43	5					
博士後期課 程独自開設 授業科目		芸術工学特別研修	1・2・3	2			○		43	3	1				
		芸術工学プロジェクト研究Ⅰ	"	2			○		43	3	1				
		芸術工学プロジェクト研究Ⅱ	"	2			○		43	3	1				
		芸術工学特別演習Ⅲ	"	2			○		43	3	1				
		小計 (4科目)	—		8		—		43	3	1				
合計 (88科目)			—		176		—		43	30	1				
学位又は称号		博士 (芸術工学) 博士 (工学)			学位又は学科の分野		工学関係, 美術関係								

1. 必要性（社会ニーズ等）



養成人材像

芸術工学研究分野において求められる発展型のデザインストラテジー方法論を構築する実践型の芸術工学研究者

デザインストラテジー方法論を構築し展開でき、博士の学位を有し、企業や高等教育機関において教育研究を担える人材

デザインストラテジー専攻博士後期課程
博士（芸術工学）
Ph. D. (Design)



教育課程



博士論文

デザインストラテジー・リサーチ研修
修士課程の学生や企業内デザイナーに対する教授実習

デザインビジネス系科目

ストラテジックアーキテクト科目

ストラテジックエクスペリエンス科目

その他の開設科目

デザインストラテジー・リサーチプロジェクトC

博士論文作成のための論理的構成力や研究の独創力などを涵養

デザインストラテジー・リサーチプロジェクトB

デザインストラテジー・リサーチプロジェクトA

産学官連携プロジェクトなど博士研究のケーススタディを修練

入学者像



デザインストラテジストを目指す明確な動機を持つ者

デザインストラテジー専攻修士課程修了者

他大学他専攻などの大学院修士課程修了者

修士課程修了と同等の能力を有する
デザイン関連社会人・中堅デザイナー

デザインストラテジー専攻博士後期課程を担当する教員の異動

●新設する博士後期課程について

既設の芸術工学専攻博士後期課程の研究指導担当教員が多数参画する。

学位の種類及び分野の変更を伴わない。

* 研究指導教員 = P9 > 9 × 2/3

* 同専門分野教員 = 12 > 17 × 1/2

デザインストラテジー専攻博士後期課程

学位の名称：博士（芸術工学）

学位の分野：工学、美術、経済、音楽関係

17名（P9、AP7、L1）

異動 12名（P7、AP4、L1） + 5名（P2、AP3）

* 芸術工学専攻博士後期課程から

* デザインストラテジー専攻修士課程から

20年度計画

19年度現在

74名（P43、AP30、L1）

5名（P2、AP3）
* 修士課程のみ担当

芸術工学専攻博士後期課程

学位の名称：博士（芸術工学）

学位の分野：工学、美術関係

74名（P43、AP30、L1）

* 博士後期課程では全員芸術工学専攻担当

博士
後期課程

修士課程

芸術工学専攻修士課程

学位の名称：修士（芸術工学）

学位の分野：工学、美術関係

74名（P43、AP30、L1）

デザインストラテジー専攻修士課程

学位の名称：修士（デザインストラテジー）

学位の分野：工学、美術、経済関係

+ 5名（P2、AP3）
* 修士課程のみ担当

教員組織

芸術工学研究院

教育組織の編成の考え方及び特色

活躍の場

博士後期課程修了者
博士（芸術工学）
Ph. D. (Design)



デザインストラテジー学 教員・研究者
高度なデザインストラテジー能力
「独自の実践型デザインストラテジー
方法論を構築し教育研究を担える能力」
を有する人材

デザイン系大学・大学院
ビジネススクール
公的試験場・産業デザインセンター
企業等デザイン研究機関

OUT

教員組織

博士論文

学問分野 | 芸術工学 | デザイン方法論の構築 | デザインメソドロジー | など

教育組織

デザインビジネス講座

デザインビジネス方法論を
教育し研究指導する教育組織

ストラテジックアーキテクト講座

生活環境デザインを深化・統合する方法論を
教育し研究指導する教育組織 UIA 対応

ストラテジックエクスペリエンス講座

情報環境デザインを深化・統合する方法論を
教育し研究指導する教育組織

芸術工学研究院

九州大学他研究院

日本産業デザイン振興会

博士後期課程 | スーパーデザインプロデューサ、ストラテジックデザインスーパーバイザーの養成

修士課程 | デザインプロデューサ、デザインストラテジストの養成

IN

デザインストラテジー専攻修士課程修了者 他大学他専攻など大学院修士課程修了者 デザイン関連社会人